



2024年6月期 第1四半期決算説明資料

2023年11月10日

便利で安全なネットワーク社会を創造する

BroadBand Security, Inc.

株式会社ブロードバンドセキュリティ

<https://www.bbsec.co.jp/>

2024年6月期 第1四半期業績ハイライト

ブロードバンドセキュリティの目指す方向性について

2024年6月期業績予想

売上高は過去最高を更新する一方、新規サービス立ち上げや販促マーケティング等への積極投資の影響で、原価・販管費が増加し、前年同期比減益

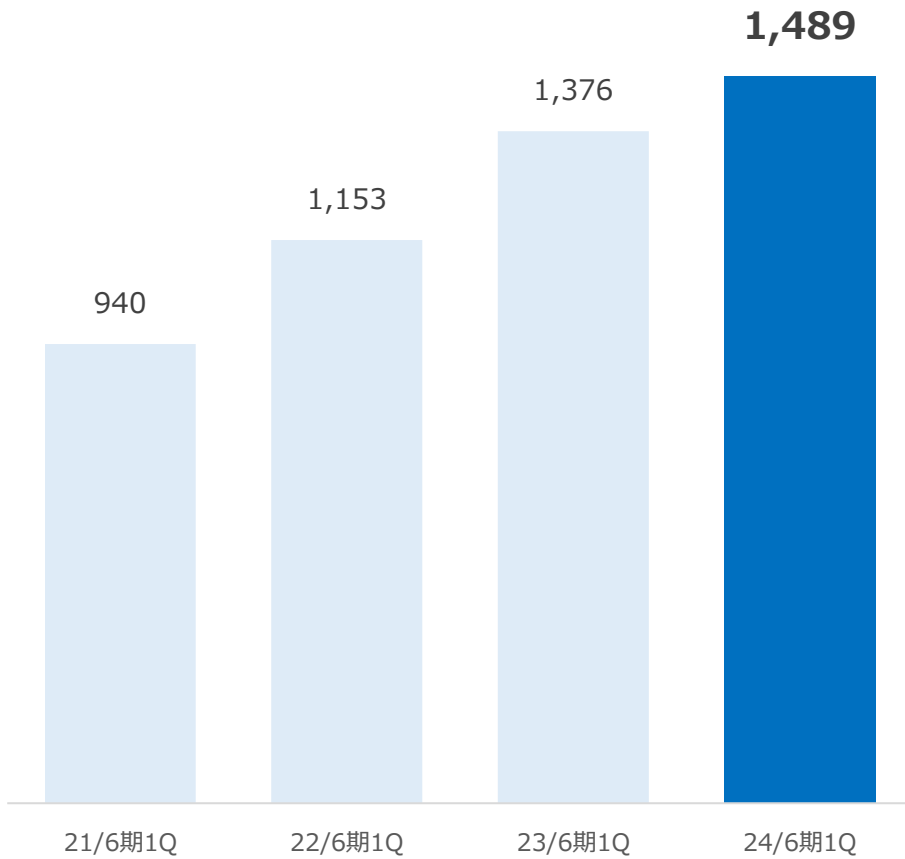
単位：百万円

科目	2023年6月期 第1四半期実績	2024年6月期 第1四半期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,376	過去最高 1,489	+113	+8.2%
売上原価	985	1,094	+108	+11.1%
売上総利益	391	395	+4	+1.0%
販売費及び一般管理費	294	315	+20	+6.9%
営業利益	96	79	▲16	▲17.0%
売上高営業利益率	7.0%	5.4%	▲1.6p	
経常利益	89	77	▲12	▲13.5%
売上高経常利益率	6.5%	5.2%	▲1.3p	
当期純利益	98	48	▲49	▲50.7%

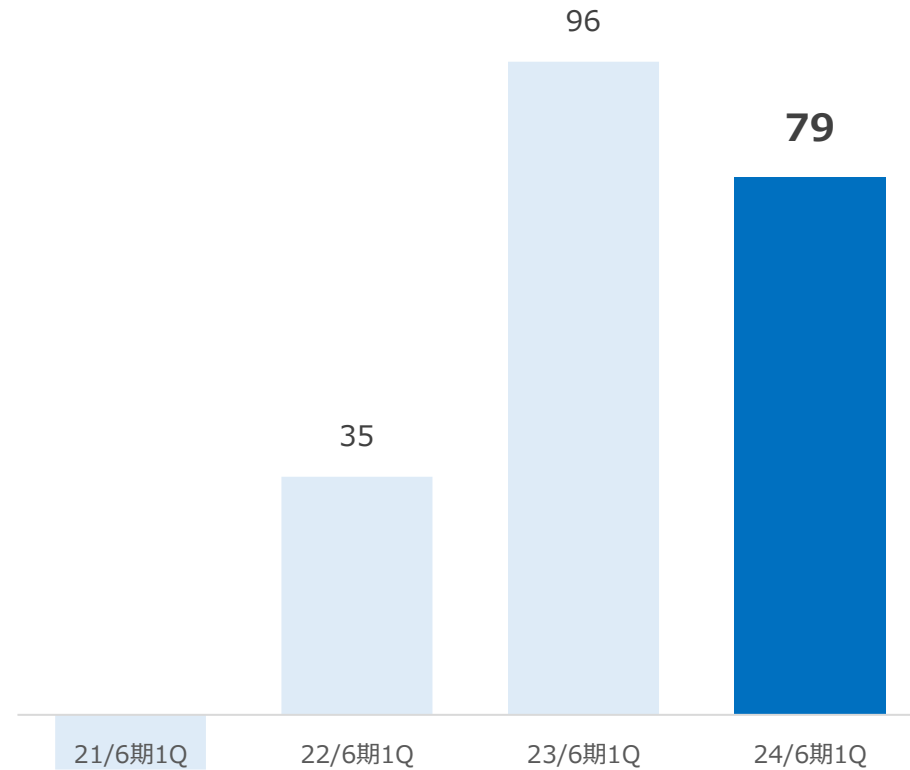
前期 1 Q比で増収を継続

単位：百万円

売上高推移



営業利益推移



セキュリティ監査・コンサルティング、情報漏えいIT対策において 1Qとして過去最高の売上高を更新

単位：百万円

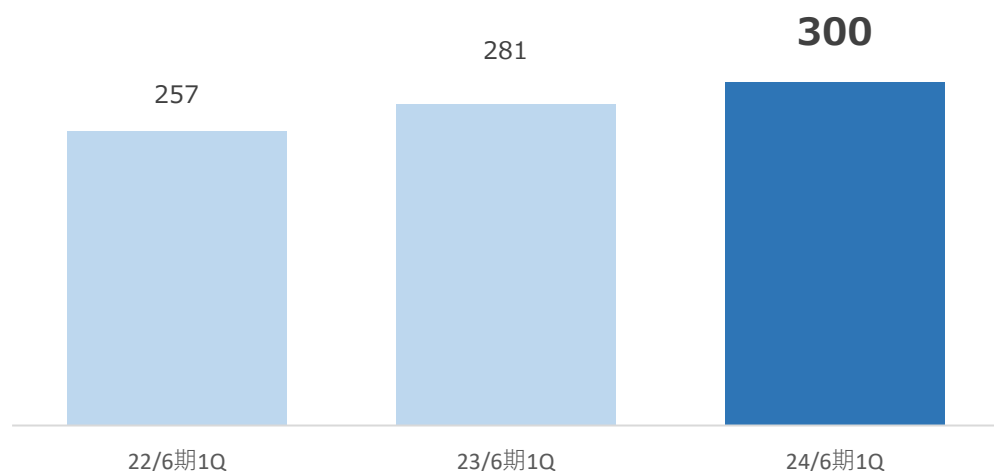
サービス区分	2023年6月期 第1四半期 売上高	2023年6月期 第1四半期 売上高	前年同期比		変動要因
			増減額	増減率	
セキュリティ監査・ コンサルティング	281	過去最高 300	+19	+6.8%	インシデント訓練関連案件の増加およびサイト構築コンサル案件の増加により前年比増収
脆弱性診断	397	354	▲42	▲10.8%	受注額は前年比増であるものの、大型案件の納期が2Q以降であるため、1Q減収
情報漏えいIT対策	697	過去最高 833	+136	+19.6%	緊急対応フォレンジック案件からのセキュリティ運用など、定常収益の安定的な積上げにより前年比大幅増収

ランサムウェア被害等のサプライチェーンリスクを背景とした インシデント対応態勢整備、自動車関連事業のセキュリティ支援が好調

セキュリティ監査・コンサルティング

売上高推移

単位：百万円



売上高

前期比6.8%増

CSIRT関連およびインシデント訓練案件数増加率

前期比2.1倍



一般企業向けコンサルティング案件増加

- ランサムウェア感染の事故後態勢整備に伴う引き合いは継続して増加し、定常収益型コンサルティングに貢献
- CSIRT、インシデント対応態勢整備、インシデント訓練等の有事を想定した対応整備についても増加
- 一般社団法人自動車工業会のガイドライン準拠支援も好調

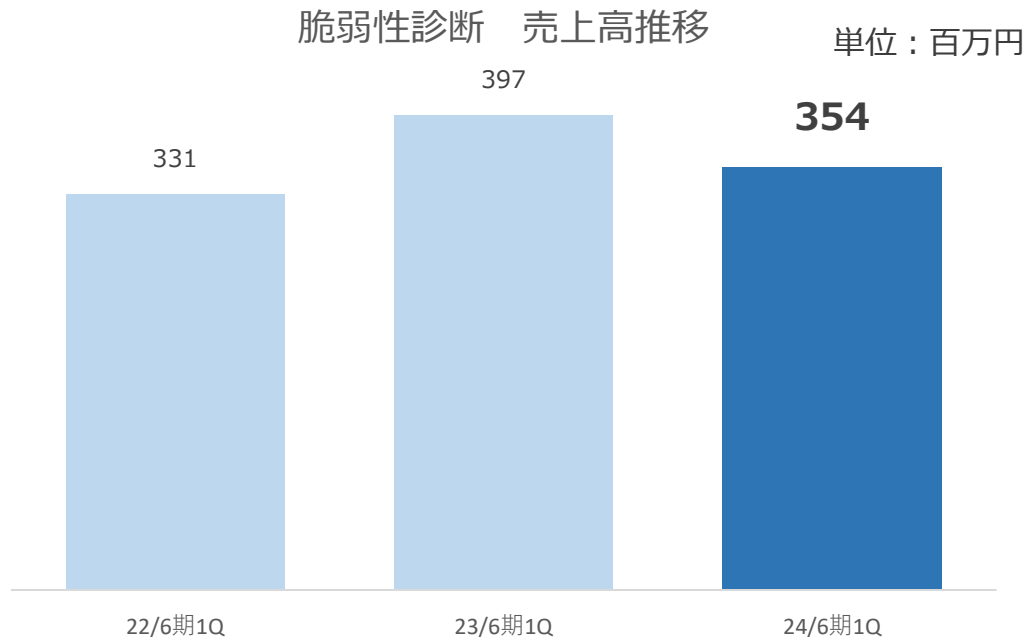


金融、クレジットカード業界向け案件も引き続き増加

- クレジットカードの不正利用が増加している背景と、PCI DSS v4.0対応の期日（24年3月）が近づいていることもあり、対応支援に関する引き合いは増加
- SWIFTは引き続き好調

高い売上水準を維持、受注額は前年同期を上回る 新卒エンジニアの教育・育成にも注力

累計診断数
5万システム超
(2023年6月現在)



複数の大型案件への対応に注力

- 2Qに向け、大手顧客のリモート・オンサイト診断が進行中
- 難易度の高い顧客要望にも対応

特徴的なシステムに対応するメニューを拡充

- 生成AI搭載システムなどの特性に応じた診断パターンを適用
- セキュリティ設定診断の対象としてWindows OS向けを拡充
- ペネトレーションテストと合わせた提供を開始

新卒エンジニアへの教育が効果を発揮

- 4月から本格的な技術教育を実施中
- 効果的なトレーニングが奏功し、戦力化がはじまる
- 新卒メンバーならではの斬新なアイデアも社内で共有

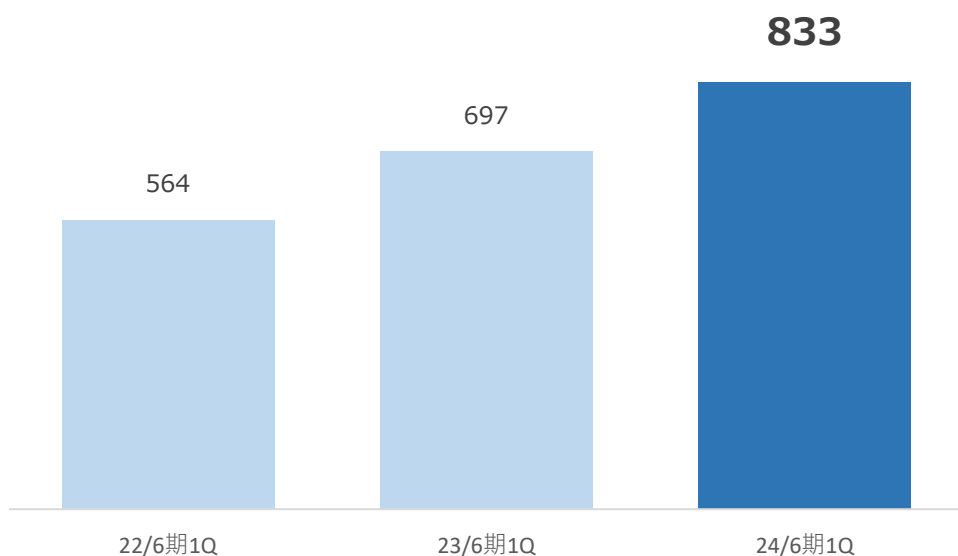


SQAT® Security Report 2023-2024年 秋冬号

- ペネトレーションテストとは？
- 企業が認識すべきセキュリティリスクの可視化

セキュリティの24時間監視サービスは堅調に増加 セキュリティ事故対応は、過去以上の規模に対応できる態勢を整備

情報漏えいIT対策 売上高推移 単位：百万円



EDR監視累計

約5万端末
(2023年6月現在)

本サービス区分の
定常収益サービス売上
前年同期比
12%増



マネージドセキュリティサービス

- EDRやSIEMの24時間365日のセキュリティ監視サービスが、底固く推移（継続サービス売上の積み上げ増加）
- 加えて、セキュリティデバイスの販売および導入作業の大型案件が完了し、1Q業績に貢献



デジタルフォレンジック および PFI

- ランサムウェアによる被害は継続して発生
- 重要インフラ企業からのインシデントの引き合いが増加
- 平時のメニューとして、脅威情報調査などを展開

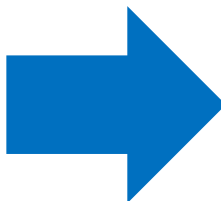
グローバルセキュリティエキスパートおよび兼松エレクトロニクスとの資本業務提携

DX・AI時代のセキュリティ事業拡充に向け、グローバルセキュリティエキスパート株式会社（GSX）および兼松エレクトロニクス株式会社（KEL）との資本業務提携契約を締結

SBI FinTech Solutions株式会社（SBIFinsol）との資本業務提携による、SBIグループとの連携は維持

異動前

大株主	割合※
SBIインキュベーション	31.40%
SBI FinTech Solutions	21.94%
SBIホールディングス	12.67%
GSX	4.83%



異動後

大株主	割合※
GSX	22.91%
SBI FinTech Solutions	21.85%
SBIインキュベーション	15.84%
KEL	9.96%

※異動前は2023年6月30日時点、異動後は2023年11月14日（予定）時点の議決権所有割合

詳細は、2023年11月10日発表「資本業務提携契約の締結、株式の売出し、親会社、筆頭株主である主要株主、主要株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」をご覧ください。

資本業務提携を通じてGSX,KELが得意とする分野を取り込み事業拡大を目指す

当社の監査・コンサルティングおよびSOC事業の拡大を目指すとともに、GSXのセキュリティ教育事業やKELのセキュリティ関連ITソリューションの拡販により事業を拡大

1. GSXおよびKELの顧客企業に向けた当社の金融機関向け監査・コンサルティングおよびSOC事業の提供
2. 当社によるGSXセキュリティ教育事業の拡販
3. KELと当社で共同でのセキュリティ関連ITソリューションの提供
4. 共催セミナー・広告等のマーケティング活動における協力、など

大手企業・準大手企業向けの総合セキュリティ企業としての地位を確立

セキュリティアドバイザー・脆弱性診断・セキュリティオペレーションセンター事業から、セキュリティインシデントへの対応まで、成長率の高い大手企業・準大手企業に向けた総合セキュリティサービスを拡充

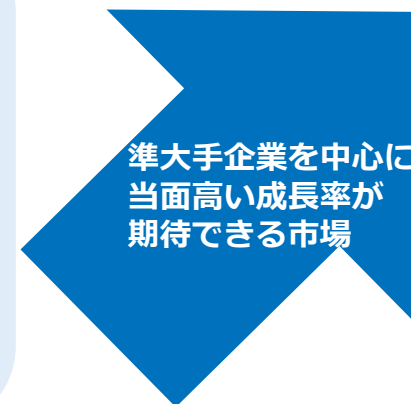
国内企業の構造



セキュリティ業界



市場環境



自動車部品業界向け情報セキュリティ対策支援サービスを拡大

自動車産業のサプライチェーンを構成するすべての企業に求められるセキュリティ対策を、ガイドラインのすべてのレベルに対し網羅的に支援

⇒自動車産業界に特化することで、「当社従来顧客とは異なる層へのアプローチ」を継続実施

背景・市場

- 自工会会員企業（自動車メーカー）がグループの主要部品メーカーに対し、業界標準である自工会・部工会ガイドラインを用いた取組みを要求
- 2024年3月末には、部工会会員(434社)の主要企業がLv2準拠を達成する見込み
- **自動車産業に携わる全取引先**に対し、ガイドラインを適用および展開するように要請が出ている
- **対象企業は5,000社以上**と予想されている



文書支援



アドバイザー



EDR



ログ分析

ログ監視では
株式会社網屋と
協業開始

必見!
自動車産業の
サイバーセキュリティガイドライン 完全攻略



ガイドライン対応への課題

- ❓ 具体的な手順の進め方が分からない・・・
- ❓ 対応するためのリソースが不足している・・・
- ❓ コスト面の負担が大きすぎる・・・

中小企業・団体向けサイバーセキュリティ・パッケージサービス 「サイバープロテクション（CP）」提供開始



端末監視ソフト（EPPとEDR）をインストールするだけ。
ソフトやセキュリティプロテクションチームが日々監視を行い、
インシデント発生時には迅速にサポートします。

↑
・監視
・アラート通知

↓
・相談

↑
・インシデント
・対応支援

監視・運用



EPP+EDR+SOCが
お客様の端末を
24時間365日体制で監視

相談窓口



導入したEPPやEDRに関する
お困りごとは電話やメールで
サポート（平日9時～18時）

駆け付け/リモート対応



インシデント発生時には
現場に駆け付け、または
リモートでサポート



簡易サイバー保険付帯

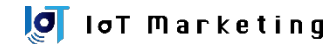
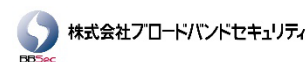
インシデント対応費用も、保険で補填できるので安心 ※限度額等諸条件あり

- 国内企業の約7社に1社がサイバー攻撃を経験
- 令和4年の被害企業のうち**53%が中小企業**



中小企業・団体向けのサイバーセキュリティ・
パッケージサービスの販売開始

サービス対応



サイバー保険



最新のサイバーセキュリティの動向をタイムリーにご紹介する「SQAT® Security Report」「今月のセキュリティトピック」「SQAT® 情報セキュリティ瓦版」

- ◆ 脆弱性診断サービスに関する最新動向をご提供
- ◆ 当社の脆弱性診断サービスを通じて見えてくる動向をお客様に還元
- ◆ 企業のセキュリティ担当者の方への解説記事

SQAT® Security Report



現状分析
クレジットカード情報漏洩
インシデントの傾向と解説

クレジットカード情報漏洩インシデントは、近年増加傾向にある。特に日本では、クレジットカードの不正利用が急増している。この傾向は、クレジットカードの不正利用が急増している。この傾向は、クレジットカードの不正利用が急増している。

脆弱性の動向

脆弱性の動向は、セキュリティアナリストが毎月セキュリティに関するニュースや公的機関の発表を動画で解説しています。視聴無料

6ヶ月ごとに当社脆弱性診断の結果を集計・分析。その傾向を探るとともに、セキュリティに関する国内外の動向を分かりやすく提供

アナリストが語る 今月のセキュリティトピック

Proselfに脆弱性、ネットワーク貫通型攻撃【概要】
— 攻撃・インシデント関連 —

7月20日、株式会社ノースグッドは、同社が提供するオンラインスレッド構築パッケージ「Proself」のセキュリティ脆弱性に関する情報を公表した。これは管理者権限での認証バypass、OSコマンドインジェクションのゼロデイ脆弱性で、すでにこの脆弱性が悪用されていることも確認されているという。

対象の製品バージョン

- 今期情報発信された脆弱性は以下のバージョンに含まれている。
- Proself Ver.5.6.1以下
- Proself Gateway Edition Ver.1.62以下
- Proself Mail Sanitize Edition Ver.1.07以下

ノースグッド社は上記バージョンを利用している場合に、過去に脆弱性の悪用による攻撃を受けたかを確認する必要がある。また、脆弱性の悪用による攻撃を受けたかどうかの確認も求められる。なお、8月24日段階でも脆弱性が更新され続けているため、メーカー情報を確認することを推奨する。

ただちに最新バージョンへのアップデートを

該当製品を利用している場合は、ノースグッド社が公開している情報をもとに、脆弱性対応のためのバージョンへのアップデートが必要がある。

当社のセキュリティアナリストが毎月セキュリティに関するニュースや公的機関の発表を動画で解説しています。視聴無料

SQAT® 情報セキュリティ瓦版

PCI DSS v4.0 で変わるセキュリティ対策のポイント

SQAT® 情報セキュリティ瓦版 Vol.25

SQAT Software Quality Analysis Team

当社のセキュリティアナリストによるセキュリティ動向の解説。海外の情報やセキュリティ担当者が対応すべき事柄を記事として毎月公開

Gomez観光サイトリライアビリティランキング発表



Webサービス・アプリケーションのパフォーマンスと信頼性評価の「**サイトリライアビリティランキング**」を創設
第1弾として、9月21日に「観光サイトリライアビリティランキング」を発表

順位	得点	都道府県名とサービス名	運営団体
1位	7.63	東京都 GO TOKYO	公益財団法人東京観光財団
1位	7.63	広島県 Dive! Hiroshima	一般社団法人広島県観光連盟
3位	7.28	群馬県 ググっとぐんま	公益財団法人群馬県観光物産国際協会
4位	7.01	栃木県 とちぎ旅ネット	公益社団法人栃木県観光物産協会
5位	6.79	熊本県 もっと、もーつと！くまもっと。	公益社団法人熊本県観光連盟
6位	6.74	鹿児島県 かごしまの旅	公益社団法人鹿児島県観光連盟
7位	6.52	大阪府 OSAKA-INFO	公益財団法人大阪観光局
7位	6.52	千葉県 まるごとe! ちば	公益社団法人千葉県観光物産協会
7位	6.52	茨城県 観光いばらき	一般社団法人茨城県観光物産協会
10位	6.43	青森県 Amazing AOMORI	公益社団法人青森県観光国際交流機構

SRE (Site Reliability Engineering)の考えのもと、パフォーマンスにセキュリティとプライバシーを評価指標に加え、「信頼性」を表す評価となっている

評価カテゴリ	評価内容
サイトパフォーマンス	ウェブサイトの表示速度、稼働率、応答性、表示の安定性を評価するカテゴリです。安定的にサイトにアクセスでき、サイト上でユーザ体験を損なわずアクセスできているかを総合的に評価します。
セキュリティ	暗号化通信、アクセス制御、HTTPレスポンスヘッダなど、公開ホームページ上での基本的な対策状況を評価します。
プライバシー	プライバシーやcookieに関するポリシー、個人情報保護に関する認証、運営企業情報など、信頼感を表す取り組みを評価します。

2024年6月期 第1四半期業績ハイライト

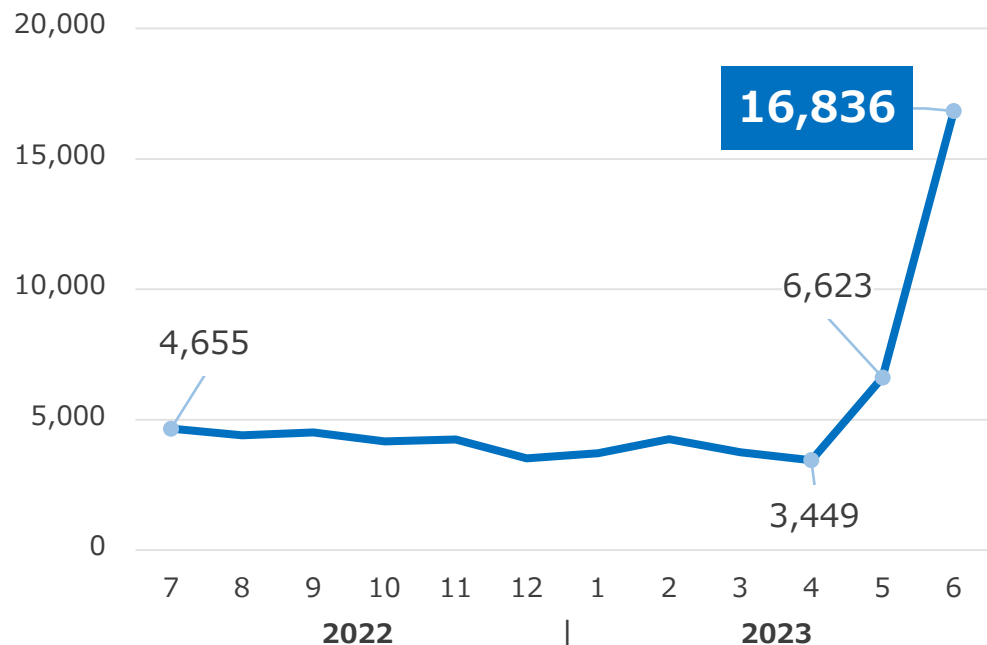
ブロードバンドセキュリティの目指す方向性について

2024年6月期業績予想

- 1. 情報セキュリティ市場の拡大**
- 2. フルラインアップのセキュリティサービス拡充**
- 3. コンサルタント・エンジニアの育成**

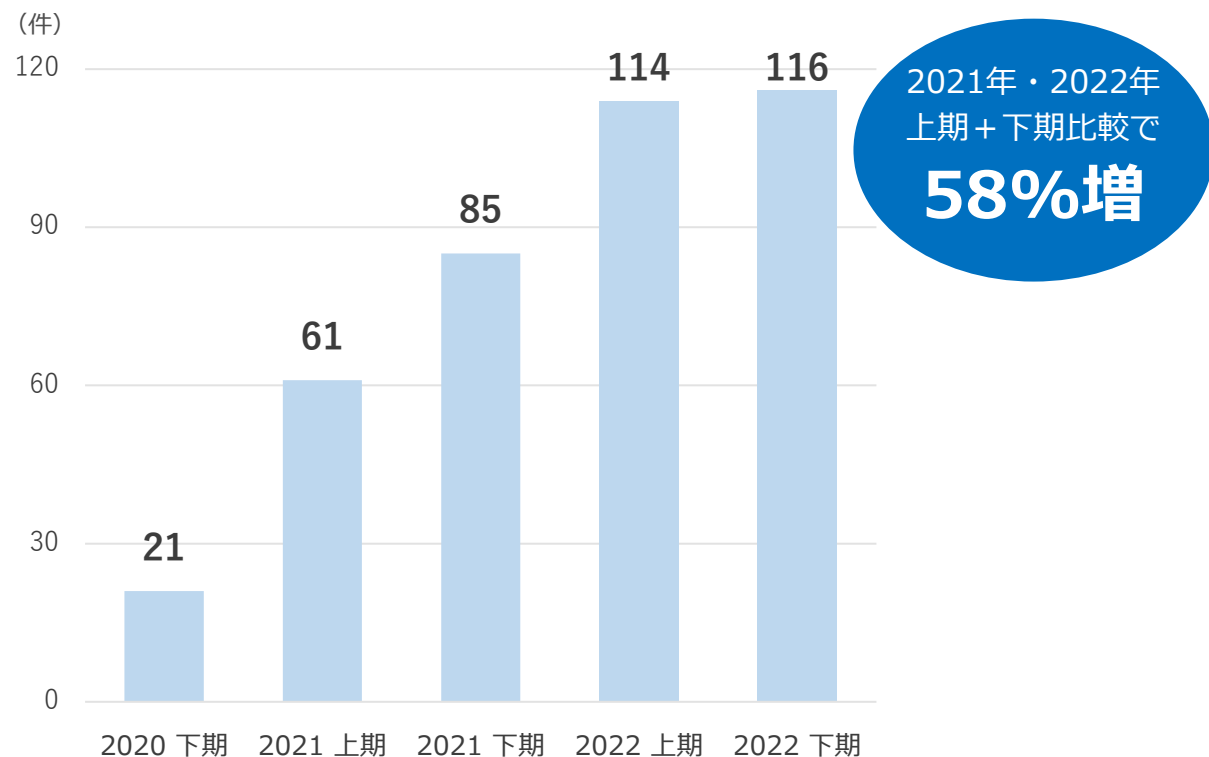
日本におけるサイバー攻撃は増加の一途をたどり ランサムウェアによる被害も高水準が続く

インシデント報告件数の推移



出典元：JPCERTコーディネーションセンター
JPCERT/CC インシデント報告対応レポート 2023年4月1日～2023年6月30日
https://www.jpcert.or.jp/pr/2023/IR_Report2023Q1.pdf

企業・団体等におけるランサムウェア被害の報告件数の推移

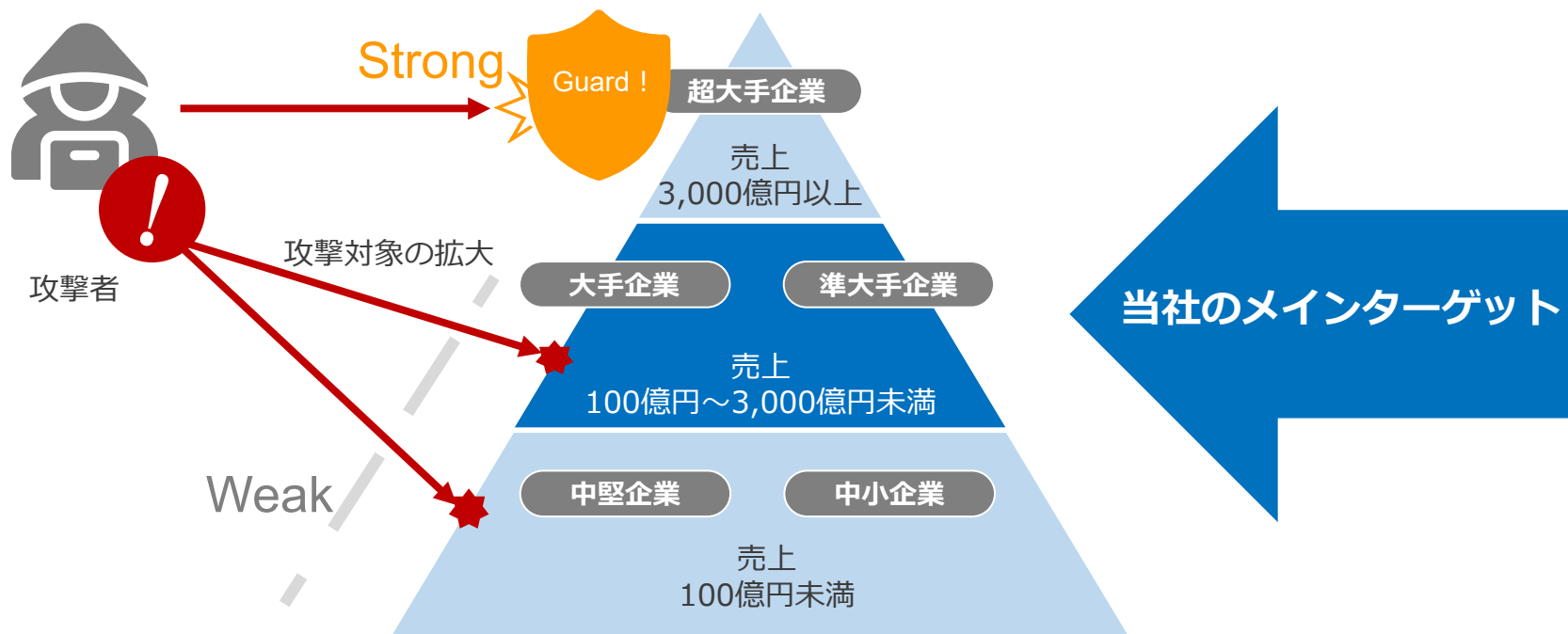


出典元：警察庁
「令和4年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」（令和5年3月16日）

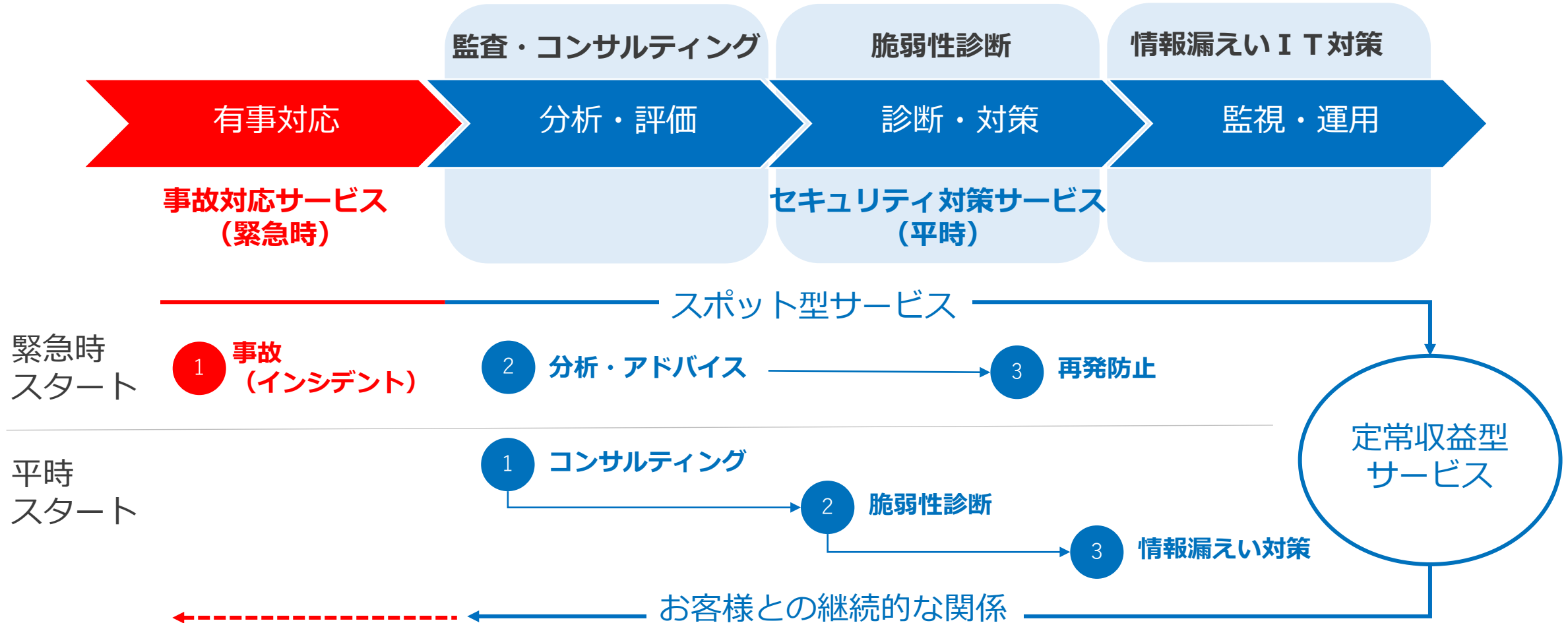
攻撃ターゲットが当社のメインターゲットである準大手企業にも拡大傾向

攻撃者からみた
ターゲットの拡大

国内市場の構造

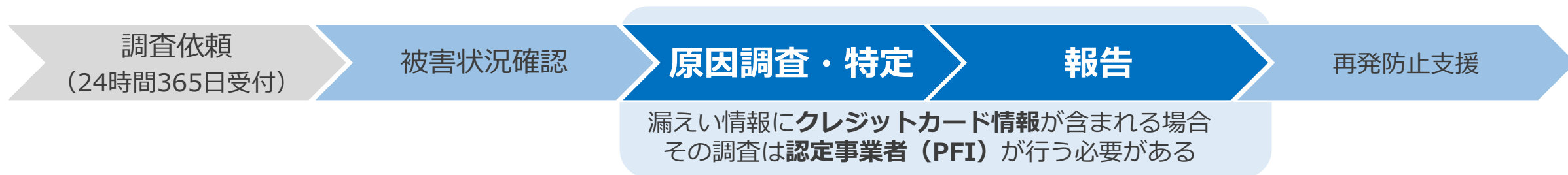


有事の対応から、平時のコンサルティング、日々の監視・運用までフルラインアップのセキュリティサービスを1社で提供できることが最大の強み



他社の追従を許さない新規事業・新サービスの拡充 クレジットカード漏えい事故に対応できる、デジタルフォレンジックチーム保有

情報漏えい事故調査（デジタルフォレンジック）の流れ



過去3年間の実績

約300件

当社は、国際的なセキュリティ機関に認められた
国内で数少ない認定事業者

新規事業・新サービス拡充を担っているのは
当社が誇るコンサルタント・エンジニア集団

人的資本への積極投資で、企業価値を向上させ、さらなる生産性の向上を目指す

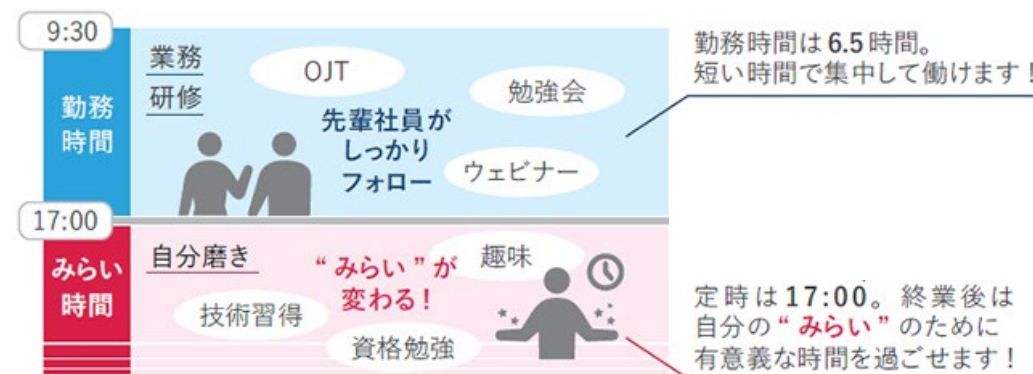
みらい時間

一人ひとりの“みらい”のために時間を使ってほしい。そんな思いから、勤務時間を見直しました。

社員の未来を応援する「みらい時間」のため、1日の勤務時間を7.5時間から6.5時間とし、自分磨きの時間確保をサポートしています。

【みらい時間の活用例】

- 業務に活かせる資格を取得するための勉強*
 - スキルアップのためにオンラインセミナーやコミュニティに参加*
- *社内有志メンバーで勉強会を開催することもあります。



資格取得サポート

社員のキャリアアップのために資格取得を奨励、受験費用の補助、資格取得一時金などの制度*を整備。

毎月外部から講師を招いた勉強会や、社員有志メンバーによる勉強会を開催し、

入社前の内定者や、インターンシップに参加された学生さんも社員と一緒に学んでいます。

***116の資格が対象**

みらい時間・資格取得サポートは社員に積極的に活用され、創設以来資格取得者が増加しています。

特にAWS認定資格においては資格取得者数が100名を超え、2022年4月には「AWS 100 APN Certification Distinction」に認定されました。

セキュリティの資格保有者が多数在籍し、多角的にお客様の対策をご支援

PCI DSS
基準認定付与件数

762件

(2023年8月現在)

PCI DSS
基準認定付与企業数

157社

(2023年8月現在)

AWS認定資格
取得数

146名

(2023年8月現在)

PCI 関連資格取得者数
<QSA、CISSP等>

100名以上

(2023年8月現在)

SWIFT
評価企業数

30社

(2023年8月現在)

2024年6月期 第1四半期業績ハイライト

ブロードバンドセキュリティの目指す方向性について

2024年6月期業績予想

業績予想の前提条件

- ◆ 情報セキュリティ市場は、当社が得意とする**大手・準大手市場**が拡大していく
- ◆ この拡大する市場に対し、**フルラインナップのセキュリティサービス**を提供できる当社の強みを最大限活かし、顧客基盤となる**定常収益型サービス**の拡大と高いリピート率の維持やクロスセル実現による営業効率の向上により**顧客数・顧客単価の向上**が実現される
- ◆ コンサルタント・エンジニアの採用・教育に対する投資を継続し、**人的資本を充実**させ、サービスの拡充と生産性の向上を実現する

売上高は10%成長を維持しながら、営業利益率は10%を維持し 増収増益を続ける

単位：百万円

科目	2023年6月期 通期実績	2024年6月期 通期計画	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	5,904	6,500	+596	+10.1%
営業利益	531	650	+119	+22.4%
売上高営業利益率	9.0%	10.0%	+1.0p	
経常利益	528	640	+112	+21.2%
売上高経常利益率	8.9%	9.8%	+0.9p	
当期純利益	416	440	+24	+5.8%



BBSec
BroadBand Security, Inc.

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、業界並びに市場の状況、金利、為替変動といった国内、国際的な経済状況の変動により異なる結果を招く不確実性を含みます。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

また、当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

株式会社ブロードバンドセキュリティ
お問い合わせ ir@bbsec.co.jp
<https://www.bbsec.co.jp/ir/>

※本資料の社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。